

私は、札幌生まれ札幌育ちの生粋の北海道民です。暑さが苦手なこともあり道外には住んだことがありませんし、近年の北海道の夏も耐え難いものとなりつつあります…。

大学時代は生態学や動物の行動観察に興味があったため、水産学部に進学しながら水産有用種でもなんでもないヤドカリの行動生態を研究していました。あまり注目を浴びることのないヤドカリですが、繁殖期にはオスがメスの背負っている貝殻ごとハサミで掴んで持ち歩いたり、オス同士で持っているメスをめぐって戦ったりとかなり面白い行動が観察できます。研究活動では大潮に合わせて、季節を問わず磯に出てヤドカリを捕まえていたため、Google ストリートビューにサンプリング最中の姿が映り込むという実績も得ることもできました。ヤドカリのカップルが気になる方がもしあれば、春に海の浅場を覗いてみることをおすすめします。

現在は、主に公共事業に関わる環境保全に従事しています。陸上・河川の動植物調査や土木に関する知識・経験のない中での就職だったため、様々な現場や諸先輩方から多くのことを学んでいる最中です。技術士の資格はできる限り早く取得したいと思っていたため、受験資格が得られた年に初受験しました。その年の結果は不合格でしたが、同じ部署の方が2人合格したことから私も次に続けたいと決意を改め、翌年無事に合格することができました。受験に際して熱いご指導を頂いた社内外の技術士の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ若輩者の私ですが、北海道の人と豊かな自然に貢献できる技術士になれるよう、これからも励んでいきたいと思っています。

木戸 結菜 (きど ゆいな)

●建設部門(建設環境)

勤務先

パブリックコンサルタント



⇒次号は、保科賢司さん(建設部門)

私は兵庫県西宮市で生まれ育ちました。子供の頃から、誰に勧められるでもなく「将来は北海道へ行くのだ」と思い込み、疑うことなく道内の大学へ進学して就職、現在に至ります。長らく獣医になりたかったのですが、微分積分を前に断念、大学では教員免許をとるも、教育実習で激務と人に物を教える難しさに断念、将来どうするか迷走している中、アルバイトを機に建設コンサルタントの仕事を知りました。大学の恩師が「建コンは難しいんじゃないかな・・・」とそっと止めて下さるのを振り切って応募、幸い採用してもらうことが出来ました。現場でデータを取り、あれこれ考えながらレポートを書く仕事は性に合ったようで、途中出産したり、会社を移ったりの小休止を挟みつつ、あっという間に30年近い日が経ちました。技術士試験は、2007年(平成19年)に筆記を通過しましたが東京で撃沈。もうあんな思いはしたくないという一心で、翌年再挑戦し合格することが出来ました。この時子供達は上の子が6歳、下の子が3歳でした。結構忙しかったはずですが「なせばなる」でした。その後、長らく試験から遠ざかっていましたが、一昨年札幌への転勤を機に、重い腰を上げて総合技術監理部門に挑戦しました。勉強し始めは暗中模索状態、長期戦を覚悟していましたが、記述問題が自身の経験とうまく合致して筆記を通過。その後は口頭試験に向けて社内外の方々の手厚いサポートを受け、なんとか合格することが出来ました。現場ではしばしば密生したヨシやササに行く手を阻まれますが、いったん立ち止まってルート変更かそのまま突っ切るかを考え、とにかく足を一歩前に進めています。振り返ると後ろに道が出来ており、人生そのものだと感じる今日この頃です。

佐々木 香織 (ささき かおり)

●建設部門

●総合技術監理部門

勤務先

株式会社 北開水工コンサルタント



⇒次号は、折戸由里子さん(環境部門)